

平成29年度 事業の実施状況

(1) 法人運営における現状と課題

ア ご利用者へのサービス提供

平成28年度に大分県・熊本県での大規模な地震や神奈川県では障がい者支援施設でご利用者の殺傷事件が発生、29年度は「ご利用者のより安全で安心な生活に向けた対策」について、早急な見直しが迫られる年であった。

委員会で防災マニュアルを再検証するとともに、防犯マニュアルを策定した。また、権利擁護や虐待防止についても研修等を通じ、引き続き職員の意識の高揚を図るとともに、取り組みの強化に法人を挙げて努力した。その結果、6月の豊後水道を震源とする地震（震度5強）や7月の九州北部豪雨の際は、防災マニュアルを参考に速やかに対応にしたことにより、ご利用者の怪我等を防ぐことができた。

イ 社会福祉法人に求められる役割

平成29年4月の社会福祉法改正施行に伴い、経営組織のカバナンスの強化のための体制整備や法人定款の全面改正及び会計監査人の選任を行う等、新たな体制により法人の組織体制の強化を図った。

また、29年度は法人設立50周年という節目の年であった。昭和42年、大分県社会福祉事業団がスタートして半世紀、入所施設を中心に県内それぞれのエリアにおいて障がい福祉分野で、地域に根ざした事業展開を行ってきた。現在、社会福祉法人は地域を『丸ごと』支える包括的な支援体制を構築し、切れ目のない支援の一端を担うことが求められている。今後も新たな福祉課題への対応に積極的に取り組み、セーフティネットとしての役割を果たしていきたい。

ウ 地域公益事業への取り組み

生活困窮者対策として、各拠点において無料低額宿泊事業所を設置し、利用拡大を図るとともに、湊泉寮においては生活困窮者のための就労訓練事業である「中間的就労」に新たに取り組み、2名と契約し支援した結果、1名が一般就労した。

また、日田はぎの園では「ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業」を大分県から受託し、ひとり親家庭の負担軽減を図った。

さらに、各所属で住民参加型の行事開催や地区の行事に積極的に参加するなど、地域に根ざした施設づくりを行った。

エ 多様なニーズに対応するための事業展開

29年度は第5期中長期計画策定委員会を立ち上げ、各圏域におけるニーズ調査を行い、誰もが望んでいる福祉サービスを洗い出すとともに、平成30年度の障がい福祉サービス等報酬改定や八つ星の丘の開所における影響も含め、法人組織の再編についても協議した。結果、佐伯市の児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所「ダンボ」の開所や放課後等デイサービス「バンビ」の市街地への移転に結びつけた。

また、30年度は八つ星の丘に併設された通所介護事業所が開所となり、高齢者向けの日中活動の場も整備されるため、これまでその役割を担っていた地域総合支援センターの生活介護を廃止することとした。

オ 新たな福祉課題への対応

厚生労働省社会福祉審議会において、高齢障がい者に対する支援のあり方や障がい者の「親なきあと」への対応、地域生活・地域移行の受け皿として、グループホーム等を中心とする拠点機能の必要性が示されている。その中で当法人としては、高齢障がい者を優先とする有料老人ホームを整備した。

また、同じく社会的課題となっている「精神障がい者の社会的入院」の解消や若年障がい者の自立生活を目的としたグループホームを建設するなど、国の施策に対し、先駆的な取り組みを行った。

(2) 重点目標

ア 利用者本位のサービスの徹底

ご利用者の高齢化に伴う心身機能の低下への対応として、引き続き作業療法士、言語聴覚士及び支援員等によるリハビリテーションに取り組んだ。また、委員会活動にて検討すべき議題としてあがった「誤嚥」についても、当法人独自のチェックリストを作成し、各所属で調査を実施した結果、リスクの高いご利用者の把握ができたため、30年度には検証及び対策を行う。

さらに、就労系事業については、レストランや弁当等の販売促進に創意工夫をこらした結果、売り上げ及びご利用者の賃金が向上した。加えて、一般就労に必要なスキルの取得や職場評価などを実施したことで、4名のご利用者が一般就労した。

就労継続支援B型については、新規作業等に取り組んだことで収入増につながり、いずれの事業所においても、初めて平均工賃が20,000円を超えた。

(平成29年度大分県目標工賃月額 17,773円)

イ 運営体制の強化

社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人の公益性・非営利性にふさわしい経営組織の構築や財務規律及び事業の透明性の向上に一層取り組むため、「内部管理体制の基本方針」の策定や理事長及び業務執行理事で構成した「経営推進会議」を毎月1回開催し、主要事業における進捗状況等を随時確認し、業務遂行に資した。

また、地域における公益的な取り組みを推奨することで、社会福祉の担い手としての役割を果たした。

さらに、事業団中長期計画策定委員会を開催し、今後5年間における各拠点の収益状況と今後の改築等の積立額の根拠を確認し、新たな福祉への挑戦と長期的な経営基盤の確立に対する課題への対応について検討した。

ウ 地域公益事業の推進

所属において、各々で特色を出した地域ぐるみ行事等を計画・開催し、地域との交流を一層図るとともに、地域住民の「障がい」への理解を深めることにつながり、地域に根ざした施設づくりにつながった。

また、生活困窮者対策である無料低額宿泊事業を宇佐市・日田市・佐伯市及び日出町で実施し、生活困窮者の食と住の支援に積極的に取り組んだ。

特に「けいせんプラザ」では生活困窮者対策である無料低額宿泊事業だけでなく、様々な理由で仕事に就くことが難しい人を対象に、支援付きの就労機会を提供する中間的就労に取り組み、1名のご利用者が生活困窮の状況を脱した。

さらに、日田はぎの園では「ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業」を受託し、ひとり親家庭の子どもの基本的な生活習慣の取得支援や学習支援等を行い、ひとり親家庭の負担軽減を図った。

エ 新たな福祉課題への対応

「親なきあと問題」に対応する具体的取組みとして、旧糸口第二厚生園跡地に高齢の障がい者を優先とした有料老人ホーム「八つ星の丘」を整備し、3月には職員を先行配置、平成30年4月の事業開始に向け、万全な体制を整えた。

また、若年障がい者及び精神障がい者向けの生活訓練型グループホームを日田市街地に整備し、「親なきあと問題」及び「精神障がい者の社会的入院」の解消を目指す。

九重町においては、町内では初となるグループホームを年度内に整備する予定であったが、建築予定地にある九重町所有の建物解体工事の遅れなどにより、予定を30年度の整備に変更した。

オ 人材確保と職員育成の充実強化

質の高い人材を安定的に確保するため、就職説明会や福祉系の学校訪問を強化するとともに、インターネットを活用しての職員募集を行ったことにより、総合職採用試験に145名の申込みがあった。

また、「虐待は絶対に許さない」という組織風土を確立するため、法人本部主催の研修では、各階層別毎に権利擁護の講義を組み込むとともに、所属においては、会議等で「虐待」をテーマに各職員が数分間のスピーチを行うなど、福祉人材の育成に積極的に取り組んだ。

ご利用者の高齢化・重度化への対応として、①強度行動障害支援者養成研修、②親なきあと相談支援者養成研修を行い、各障がいの特性や支援方法を習得するとともに親なきあと問題について対応できる職員の育成を図った。

資料1

平成29年度 苦情相談の解決状況

(単位：件)

		苦情相談の内容					小計	その他	合計		
		ケアの内容に関する こと	個人・家族・交友 に関する こと	設備に関する こと	生活の不便に関する こと	行事に関する こと					
相 談	地 域	3	44				47		47		
	渓泉寮		49				49		49		
	のぞみ	27	30	5	7	3	72		72		
	学 園	1	24			10	35		35		
	厚生園		65	3	15	5	88		88		
	二 厚		143		8	24	175		175		
	通勤寮	8	37		2	1	48		48		
	なおみ	10				3	13		13		
	はぎの園	42	52	3	3	26	126	49	175		
	合 計	91	444	11	35	72	653	49	702		
結 果	解 決	事業者	地 域	3				3		3	
			渓泉寮		25				25		25
			のぞみ	27	30	5	7	3	72		72
			学 園	1	24			10	35		35
			厚生園		19	3	15	2	39		39
			二 厚		143		8	24	175		175
			通勤寮	8	37		2	1	48		48
			なおみ	10				3	13		13
			はぎの園	33	49	3	2	26	113	49	162
			小計	82	327	11	34	69	523	49	572
	決	第三者 委員	地 域		44			44		44	
			渓泉寮		24			24		24	
			のぞみ								
			学 園								
			厚生園		46			3	49		49
			二 厚								
			通勤寮								
			なおみ								
			はぎの園	9	3				12		12
小計	9	117			3	129		129			
計	91	444	11	34	72	652	49	701			
未 決	未 決	地 域									
		渓泉寮									
		のぞみ									
		学 園									
		厚生園									
		二 厚									
		通勤寮									
		なおみ									
		はぎの園				1		1		1	
		計				1		1		1	
合計	91	444	11	35	72	653	49	702			

※「センターはぎの」は日田はぎの園と合同で開催